

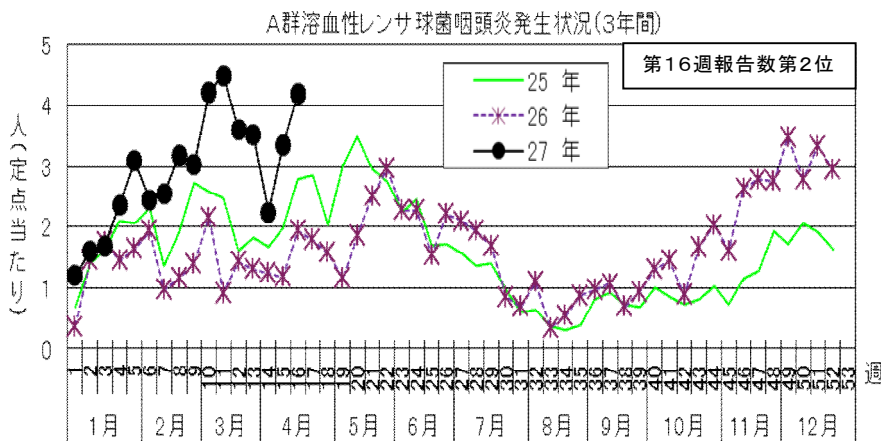
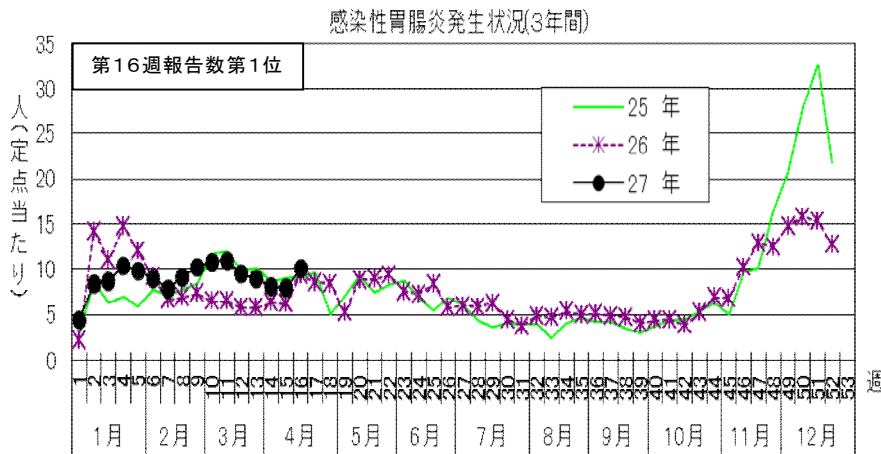
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成27年4月13日（月）～平成27年4月19日（日）〔第16週〕の感染症発生状況

第16週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.97人と前週（7.84人）から増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.18人と前週（3.34人）からやや増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は1.89人と前週（1.19人）から増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。



～海外で気をつけたい感染症の予防方法～

ゴールデンウィークは海外へ渡航される方も多い時期です。安全で快適に旅行し、帰国後も元気に過ごせるよう、海外で注意すべき感染症及びその予防対策についてお知らせします。

食べ物を介してうつる感染症

腸チフス、赤痢、コレラ、A型肝炎などは、病原体に汚染された食べ物や飲み物を介して感染します。多くは下痢を引き起こしますが、A型肝炎（症状：倦怠感・黄疸）のように下痢が主症状でない感染症もあります。

動物や蚊を介してうつる感染症

デング熱、マラリア、日本脳炎などは蚊に刺されることで感染するので、刺されないよう注意が必要です。狂犬病、鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9）などにかからないためには、不用意に動物に触らないことが重要です。

- こまめに手を洗う
- 生水を飲まない
- 氷を避ける
- 生野菜は避け、完全に火の通った物を食べる

特に腸チフスや赤痢は、国外感染例が多い感染症です。また、デング熱は昨年国内感染事例が話題となりましたが、毎年100例以上の国外感染例が報告されていますので、予防対策を徹底しましょう。

- 動物にはむやみに手を出さず、近寄らない
- 長袖、長ズボンを着用
- 蚊に刺されない工夫（虫除け剤の使用等）

